うるしの近代

京都、「工芸」前夜から

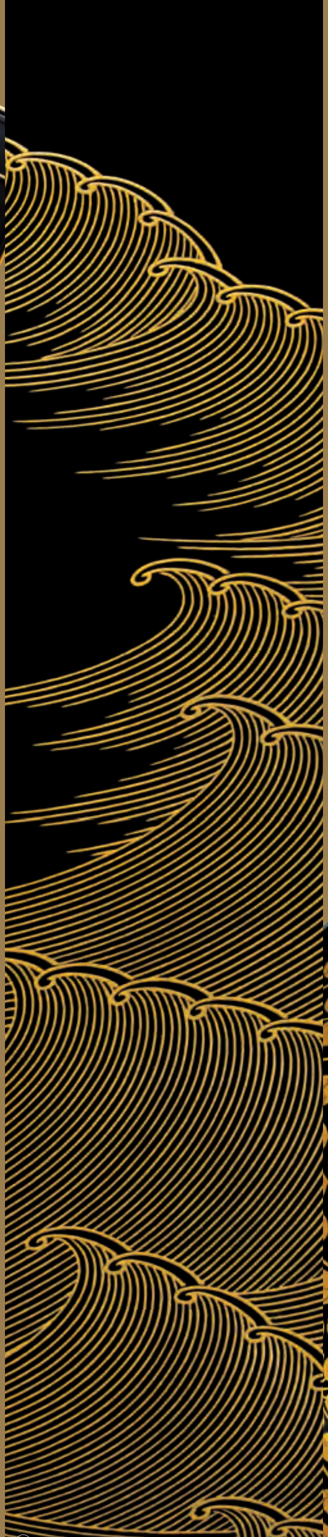
KYOTO, Re-creation of Reminiscence ………Lacquerware in Modern Japan

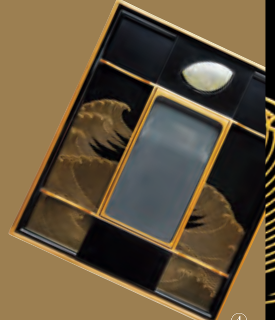
①

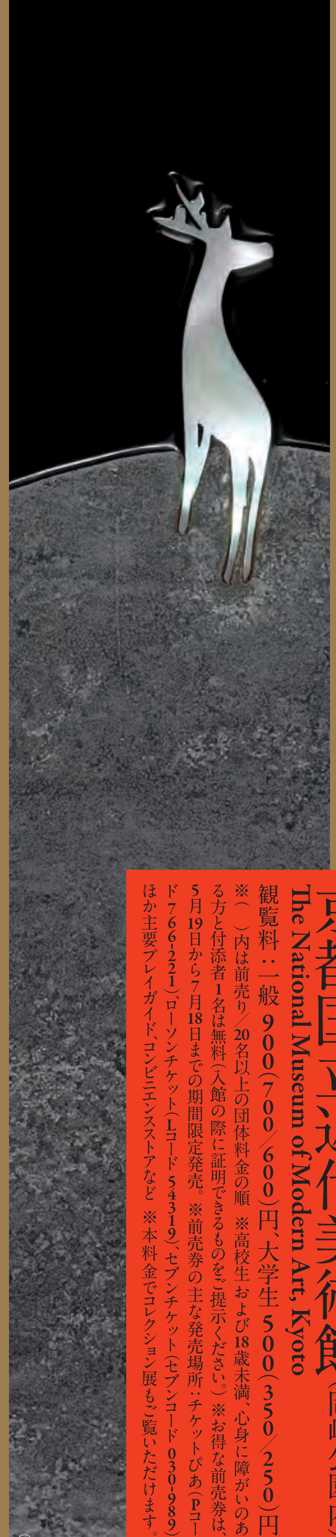
②

③

①


④


④

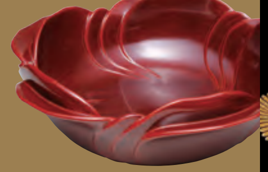

⑤

2014年7月19日（土）–8月24日（日）
開館時間：午前9時30分–午後5時（入館は、閉館の30分前まで）
休館日：月曜日（ただし、7月21日（月・祝）は開館、翌22日は休館）
主催：京都国立近代美術館、京都新聞

京都国立近代美術館（岡崎公園内）
The National Museum of Modern Art, Kyoto

観覧料：一般 900（700／600）円、大学生 500（350／250）円
※（ ）内は前売り／20名以上の団体料金の順 ※高校生および18歳未満、心身に障がいのある方と付添者1名は無料（入館の際に証明できるものをご提示ください。） ※お得な前売券は、5月19日から7月18日までの期間限定発売。 ※前売券の主な発売場所：チケットぴあ（Pコード766-221）、ローソンチケット（Lコード54319）、セブンチケット（セブンコード030-989）ほか主要プレイガイド、コンビニエンスストアなど ※本料金でコレクション展もご覧いただけます。

⑥


⑦

KYOTO, Re-creation of Reminiscence
—Lacquerware in Modern Japan

July 19 (Sat.)-August 24 (Sun.), 2014
Hours: 9:30-17:00 (Admission until 16:30)
Closed: Mondays (except July 21), July 22 (Tue.)
Admission: Day of admission/Adults ¥900; University students ¥500, Advance/Adult ¥700; University students ¥350, Group (20 or more)/Adult ¥600; University students ¥250
*Free for high school students and younger.
*Visitors with disability and one person accompanying them are admitted free of charge. (Please present certificate at the admission.)
*Advance tickets: Ticket Pia (P-code: 766-221), Lawson Ticket (L-code: 54319), Seven Ticket (Seven-code: 030-989), Other major ticket vendors and convenience stores
*Advance tickets are available for a limited period only. (5/19-7/18)

⑧

⑤

⑨

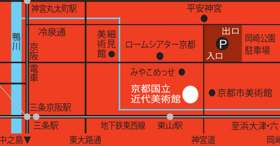
⑩

②

⑩

京都国立近代美術館（岡崎公園内）
The National Museum of Modern Art, Kyoto

お問合せ：京都国立近代美術館／〒606-8344
京都市左京区岡崎円勝寺町 Tel：075-761-4111
テレホンサービス（展覧会のご案内）：075-761-9900
ホームページ：http://www.momak.go.jp
Contact: The National Museum of Modern Art, Kyoto
Okazaki Enshoji-cho, Sakyo-ku, Kyoto 606-8344 JAPAN
Tel: 81(0)75-761-4111
Information: 075-761-9900 http://www.momak.go.jp



⑧

［交通案内］＝**JR・近鉄～バスをご利用の方**●JR・近鉄京都駅前（A1のりば）から市バス5番 岩倉行「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車すぐ ●JR・近鉄京都駅前（D1のりば）から市バス100番（急行）銀閣寺行「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車すぐ **阪急・京阪～バスをご利用の方**●阪急烏丸駅・河原町駅、京阪三条駅から市バス5番 岩倉行「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車すぐ ●阪急烏丸駅・河原町駅、京阪祇園四条駅から市バス46番 平安神宮行「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車すぐ **市バス他系統をご利用の方**●市バス他系統「東山二条・岡崎公園口」または「岡崎公園 ロームシアター京都・みやこめっせ前」下車徒歩約5分 **地下鉄をご利用の方**●地下鉄東西線「東山」駅下車徒歩約10分 ※当館には駐車場がございません。岡崎公園駐車場（地下）をご利用下さい。※岡崎公園駐車場をご利用の有料入館者は、駐車場の割引（1台につき1回）を受けられますので駐車券をお持ちの上お越し下さい。

［Getting to MoMAK］=**By JR/Kintetsu/Bus** ●From JR/Kintetsu Kyoto Station (Kyoto-eki-mae Boarding Area A1), Take Kyoto City Bus No.5 (toward Iwakura), get off at "Okazaki Koen/Bijutsukan, Heian Jingu-mae." ●From JR/Kintetsu Kyoto Station (Kyoto-eki-mae Boarding Area D1), Take Kyoto City Bus No.100 (toward Ginkakuji Temple, express), get off at "Okazaki Koen/Bijutsukan, Heian Jingu-mae." **By Hankyu/Keihan/Bus** ●From Hankyu Karasuma Station/Kawaramachi Station or Keihan Sanjo Station, Take Kyoto City Bus No.5 (toward Iwakura), get off at "Okazaki Koen/Bijutsukan, Heian Jingu-mae." ●From Hankyu Karasuma Station/Kawaramachi Station or Keihan Gion-Shijo Station, Take Kyoto City Bus No.46 (toward Heian Jingu Shrine), get off at "Okazaki Koen/Bijutsukan, Heian Jingu-mae." **By other Bus Routes** ●Get off at "Okazaki Koen/ROHM Theatre, Miyakomesse" or get off at "Higashiyama Nijo, Okazaki Koen-guchi" and 5 minutes walk. **By Subway** ●Get off at "Higashiyama" station of Kyoto City Subway Tozai Line and 10 minutes walk. ＊The museum does not have a parking lot. Please use the Okazaki-koen Parking Lot. ＊A parking discount is available to our visitors. To receive a discount, please present the parking ticket at the reception desk.

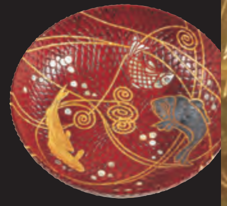
うるしの近代

京都、「工芸」前夜から

KYOTO, Re-creation of Reminiscence ……Lacquerware in Modern Japan

Since the olden days, lacquer has been used for a wide variety of daily utensils, including stationery goods, accessories and tableware, enriching the lifestyle of the Japanese people. Yet it is deeply interesting to see how Kyoto, where traditional craft-making has long been passed on from generation to generation, reacted to, and incorporated the trend of modernization after the Meiji period. This exhibition offers an opportunity to reconsider several important activities of prominent lacquer artists in Kyoto, confronting with this transitional period.

⑫


⑬

⑭

⑪

⑤

［関連イベント］

◉……講演会

●8月16日（土）午後2時—3時30分

演題：「うるしの近代」

講師：中尾優衣（当館研究員）

●8月23日（土）午後2時—3時30分

演題：「京都の近代工芸産業と神坂雪佳・浅井忠（仮題）」

講師：佐藤敬二氏（京都精華大学教授）

いずれも当館1階講堂にて、先着100名（聴講無料、当日午前11時から受付にて整理券を配布します）

※京都漆器青年会の有志と当館研究員によるギャラリー・トークなど、漆に親しんでいただくための様々なイベントを開催します。詳細は当館ホームページをご覧ください。

◉……京都・和菓子の会「うるしへのオマージュ——京菓子が彩る漆の世界」

●7月20日（日）、21日（月）

主催：京都・和菓子の会

協力：京都国立近代美術館

お問合せ：「京都・和菓子の会」事務局（担当：井上）

Email: webmaster@kyo-kaze.jp / Fax: 075-841-8089

［NFC所蔵作品選集 MoMAK Films 2014］

◉……「映画とジャポニスム……早川雪洲特集」

主催：京都国立近代美術館、東京国立近代美術館フィルムセンター

●8月8日（金）午後7時より

『蛟龍を描く人』（1919年、51分）

●8月9日（土）午後2時より

『颱風（タイフーン）』（1914年、63分）

『火の海（神々の怒り）』（1914年、56分）

［全作品35mm・日本語字幕付］

※各日とも、当館1階講堂にて、先着100名

料金1プログラム 500円。

詳細は当館ホームページをご覧ください。

関西から 文化力 POWER OF CULTURE

⑬

⑯

⑰

①木村表斎《鶯宿梅蒔絵吸物椀》明治期、京都国立近代美術館 ②浅井忠・案、杉林古香・作《鶏梅蒔絵文庫》明治39年、京都国立近代美術館 ③象彦（西村彦兵衛）製《四季蒔絵香合》のうち上島光波〈燎爛〉、大正～昭和初期、三井記念美術館 ④木村表斎、富田幸七《名取川蒔絵硯箱》明治期、京都国立近代美術館 ⑤神坂祐吉《月之意蒔絵硯箱》大正～昭和初期、京都国立近代美術館 ⑥迎田秋悦《平野の松歌蒔絵料紙文庫》大正10年、広島県立美術館 ⑦二代 鈴木表朔《溜塗輪花形菓子器》昭和初期 ⑧迎田秋悦《鹿秋草蒔絵硯箱》明治～昭和初期、根津美術館 ⑨富田幸七《水貝蒔絵内朱七寸重箱》明治期、京都国立近代美術館 ⑩江馬長閑《草花色蒔絵大棗》大正～昭和初期、静嘉堂文庫美術館 ⑪迎田秋悦《杉藤蒔絵重硯箱》大正9年 ⑫戸嶌光孚《松楓蒔絵硯箱》大正9年頃、公益財団法人山階鳥類研究所（学習院大学史料館保管） ⑬浅井忠・案、杉林古香・作《遊魚菓子器》明治42年、佐倉市立美術館 ⑭浅井忠・案、杉林古香・作《朝顔蒔絵手箱》明治42年、京都工芸繊維大学美術工芸資料館（AN・1617） ⑮象翁（六代西村彦兵衛）製《柳橋蒔絵冠卓》明治～大正期、三井記念美術館 ⑯初代 鈴木表朔《麦藁小吸物椀》昭和初期 ⑰戸嶌光孚《枝垂桜蒔絵手箱》大正期、泉屋博古館分館 ⑱井上（徳力）彦之助《双曲線的なるラヂオセット》昭和9年、京都市美術館 ⑲象翁（六代 西村彦兵衛）製《大堰川三船御遊蒔絵料紙箱》明治～昭和初期、三井記念美術館

深い漆黒（しっこく）のつや、華やかな朱色、金や銀の輝き、虹色に光る貝——ウルシの木から採れる樹液を使って、器の表面を塗り重ね、蒔絵（まきえ）などの装飾を施す漆芸（しつげい）には独特の美しさがあります。漆は私たちの生活に関わるあらゆるものに用いられ、はるか昔から日本人の暮らしを豊かに彩ってきました。

この展覧会では、まとまった形で紹介されることの少なかった京都の動向にスポットをあてて、近代の漆芸を紹介します。明治時代、日本の近代化は様々な形で西洋の文明を取り入れることから始まりました。私たちが普段使っている「美術」や「工芸」という言葉も、この頃に西洋美術の翻訳語として生まれました。そして、京都の漆芸界は、このような東京中心の新しい美術のあり方に大きな影響を受けつつも、一方では洗練された遊びの世界から日常の器にいたるまで、「工芸」という言葉が生まれる以前のものづくりの伝統を脈々と受け継いできたのです。

本展は、京塗を代表する塗師の木村表斎（きむらひょうさい）、明治の蒔絵師として名高い富田幸七（とみたこうしち）、近代工芸の革新に重要な役割を果たした浅井忠（あさいちゅう）と神坂雪佳（かみさかせっか）という二人の図案家、そして彼らの指導を受け、それぞれが京都を代表する漆芸家となった迎田秋悦（こうだしゅうえつ）、戸嶌光孚（とじまこうふ）などの作品を、海外の美術館からの里帰り品も含めて一堂にご覧いただける、またとない機会となるでしょう。京都の漆がどのように近代を迎えたのかを考えることで、「工芸」への新たな視点を探ります。

⑱